

病害虫防除技術情報第6号

平成20年1月18日
三重県病害虫防除所

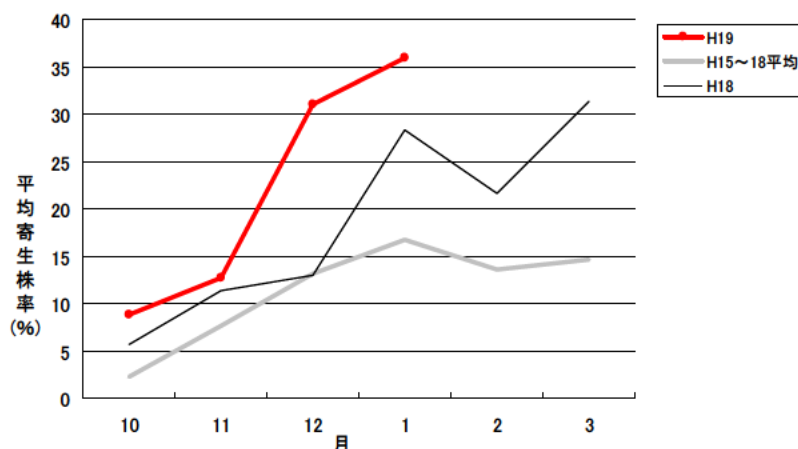
イチゴのハダニ類は、発生の多い状況が続いています

1 対象作物 イチゴ

2 病害虫名 ハダニ類

3 発生状況

- (1) イチゴのハダニ類については、12月上旬の巡回調査時に発生が多かったことから12月12日に注意報第1号を発表したところですが、依然として発生の多い状況が続いています。
- (2) 1月第2週の巡回調査(10圃場)では、平均寄生株率は35.9%(先月31.1%、H15~18平均16.7%、前年28.3%)で、注意報を発表した先月より高い数値となっています。
- (3) 1か月気象予報(1月11日発表)によると、向こう1か月は平年に比べて曇りや雨の日が多いですが、2週目(1月19日~25日)の気温は平年並または高い(確立40%)と予想されており、気温が高ければ発生量がさらに増加する恐れがあります。



図：ハダニ類寄生株率の推移 (H15から寄生株率の調査をしています)

4 防除対策

- (1) 早期発見に努め、寄生密度が低いうちに徹底した防除を行ってください。
- (2) 薬液がかかりやすくなるよう、不要な下葉を除去して丁寧に散布してください。
- (3) 薬剤散布にあたっては、ミツバチや天敵に対する影響に十分注意してください。(既に天敵を放飼している圃場での薬剤防除は、農業改良普及センター等の指導に従ってください。)
- (4) ハダニ類は抵抗性が発達しやすいので、同一薬剤や同一系統薬剤の連用は避けてください。
- (5) ハダニ類の寄生密度が高い状況で天敵を放飼する場合は、一旦薬剤防除(天敵に影響の少ない剤)でハダニ類の密度を下げた後に放飼してください。
- (6) 農薬はラベルの表示を確認して正しく使用してください。(主な薬剤は、平成19年12月12日付け注意報第1号の別表を参照ください。)